

平成29年度が始まりました。昨年度に引き続き、日頃の「雑感」を綴ってまいります。ご笑覧いただけましたら幸いです。

All for one, and one for all. No.77

### H29. 9. 2 ～ 「全国高等学校サッカー選手権大会」

旭川東光スポーツ公園を会場に、「全国高等学校サッカー選手権大会」の熱戦が繰り広げられました。高体連後、この選手権大会まで残った3年生は2人だけでしたが、新たなチームとして気持ちを一つにして臨んだ結果、見事全道への代表権をつかみとりました。

大会前は、朝練など短い時間も有効に使い、集中して頑張ってきた成果です。放課後などに練習を覗くと、いつも大きな声で挨拶してくれる素晴らしいチームです。

下級生の成長はもちろんですが、3年生の2人がチームをまとめ牽引してきた勝利と言えます。全道大会は10月21日から旭川を会場に開催されます。目の前の一つ一つの試合にベストを尽くし、生涯忘れぬ青春の輝かしい1ページにして欲しいと願っています。



All for one, and one for all. No.78

### \*エイリョウ・アラカルト 「女子テニスがまたまた快挙です！」



先月から始まった秋季支部予選会（通称：新人戦）の「女子団体戦」で見事優勝！全道大会への切符を手にししました。今年度に入りめきめきと力をつけてきたテニス部、男女そろっての全道とまではいきませんが、共に好成績を残してくれました。

女子は、ダブルスでも桑原・北原ペア、鈴木・廣瀬ペア、石田・中島ペアと3組が全道に出場、10月10日から始まる帯広での大会が今から楽しみです。上川地区の代表として、他校の分まで頑張ってきて欲しいと思います。

All for one, and one for all. No.79

### H29. 9. 8 「高文連上川支部写真展・研究大会」が東川町で開催

高文連写真の支部大会が、写真の町「東川町」で開催されました。今年度は本校が当番校になっており、写真部の生徒は前日から大忙し。当日もしっかりと役割を果たし、本大会を大いに盛り上げてくれました。

さすが「永嶺生」と思わせる流暢な司会・進行にあわせ、午前中は入賞作の講評及び表彰式、午後からは作品鑑賞と予定どおりの日程を終えることができました。

本校は団体戦で3位に入賞、個人では1年次生の山形 優真さんが「Rainy Day」で見事「最優秀賞」を受賞！（作品は8月ブログで紹介）、2年 大澤 賢恭君が「銅賞」、同じく西村 淳君、山崎 うららさん、1年 高橋 美羽さんが「入賞」、2年 天野 思歩さん





が「奨励賞」をそれぞれ受賞し、全道大会へと駒を進めました。

今年度は15校590作品と過去最高の出品となり、そのレベルも極めて高いものでした。審査員の皆様をはじめ、高文連専門委員、各顧問の先生方、東川町関係各位には多大なお力添えをいただき、当番校として厚くお礼申し上げます。

**All for one, and one for all. No.80**

### H29. 9.12 「高文連上川支部図書委員研修会」

本校が当番校となり、高文連図書委員研究会を勤労者福祉会館で開催しました。午前全体の会では、北海道立文学館 評議員の 石本 裕之教授による「宮澤賢治と旭川」と題したご講演をいただき、参加した多くの生徒たちの大きな関心呼びました。

午後からの分科会では 石本氏による「旭川と文学～小熊秀雄、井上靖、三浦綾子を中心に～」、北海道立文書館 文書専門員の 山田 正氏の「やさしい古文書入門」、北海道立旭川美術館 主任学芸員の 村山 史歩氏の「北海道立旭川美術館 展覧会鑑賞」の3分科会に分かれて参加し、研究を深めました。



3名の講師の皆様には、公務ご多忙の中、図書委員にとって大変有意義な時間を作ってください、本当に感謝しております。今回の大会が良い刺激となり、図書委員を中心に、多くの高校生が文学や文書、芸術作品に出会うことを期待するところです。

当番に当たった本校の図書委員の皆さん、準備・運営と本当にお疲れさまでした！

**All for one, and one for all. No.81**

### H29. 9.12 「北海道教育大学旭川校体験学習」を実施しました。

キャリア教育の一環として、1・2年次生の教育大学や教育学部への進学希望者を対象に、旭川教育大学のご協力を得て体験学習を実施しました。大学の説明や施設見学、模擬講義を通して、大学への理解を深め、今後の学習意欲につなげることがねらいです。



初年度となる今回は42名の希望者があり、本当に貴重な体験をさせていただきました。教育に対する関係者の熱い思いを肌で感じ、日々の学習の大切さを痛感したようです。同じ進路目標を持つ者同士が互いに刺激し合い、さらに学習意欲を高め合ってくれることを期待しています。

今後は教育に関するディスカッション等の機会を設け、生徒とともに「教育」を考えていきたいと思えます。

これからの教育には、生徒自身が経験を通して主体的に考え、深い学びを体得することが求められます。キャリア教育の充実に一層努めてまいります。



All for one, and one for all. No.82

#### H29. 9.14 「旭川養護学校高等部」との交流学習会

今年度から旭川養護学校高等部との交流会を始めました。これまで東川養護学校の皆さんと毎年交流会を行ってきましたが、本校の前身となる旭川東栄高校が旭川養護学校の皆さんと交流会を実施していたことから、それを引き継ぐ形で実現することとなりました。

今回は、東栄高校3年生の皆さんと、本校1・2年次生22名の生徒で旭川養護学校にお邪魔し、一緒に書道の作品を制作しました。

両校の生徒にとって、心から一緒に楽しみ、絆を深め合う貴重な時間を過ぎさせていただきました。今後も交流を通して、両校の生徒が互いに理解し合い、敬い合う中で豊かな人間関係や心を醸成していきます。

All for one, and one for all. No.83

#### \*エイリョウ・アラカルト 「体育系部活動快進撃!、文化系も負けていません」

男子バスケットボール部が「北海道高校選手権大会支部予選会」で強豪校を破り優勝しました。また、弓道部は「選抜大会支部予選」で念願の男女そろっての団体優勝です。

文化系でも、先月の写真部に続き、美術部2年秋元 咲紀さんの油彩画「雪」が「純正展」でジュネス特別奨励賞、3年五嶋 正太郎君が「心臓工場」で新人賞をそれぞれ受賞しました。

勉学と部活動の両立こそが本校のモットーとするところ。高校生活をより充実させるためにも、日々のあらゆる活動に全力を投じてくれることを期待しています。

All for one, and one for all. No.84

#### H29. 9.23~24 「高校生と語るつどい」

北海道高等学校PTA連合会が主催する「高校生と語るつどい」、今年度は本校が主幹となりネイパル深川を会場に2日日程で開催しました。旭川市内及び近郊と富良野から総勢57名の高校生、保護者、引率者の皆様が一堂に会し、有意義な時間を共有しました。

今年度のテーマは「次世代に伝えたいこと」、全体講演では、CCC富良野自然塾の中島 吾郎氏が「環境」をテーマに、次世代に伝えることの意義についてわかりやすくお話してくださいました。また翌日の分科会では、その講演でのお話をヒントに、生徒、保護者、引率者がグループに分かれ、意見交換をし、グループ毎に発表し合いました。普段話すことのない他校の生徒や異世代が日頃の考えや思いを交わし、互いを理解し合い、尊重し合う中で、「伝えなければならないこと」と「伝え引き継がねばならないこと」が徐々に明確になるとともに、新しい発見がたくさん見つかったことと思います。

このような機会は何度もありません。今回参加された皆様には、大きな収穫であったのではないかと思います。





このたびの開催にあたり、お仕事があるにもかかわらず、時間を作っていただき、高校生と交流していただきました保護者や引率者の皆様、並びに、会場を提供くださいました深川ネイパル関係各位、初対面の参加者が一気に打ち解けるきっかけとなるグループエンカウンターを行っていただきました担当職員の方には厚く御

礼申し上げます。

結びになります。ご多忙の中、遠方より足を運んでくださり、ご挨拶を賜りました北海道高等学校PTA連合会副会長でいらっしゃいます 福井 玲子様には心より感謝申し上げます。



#### All for one, and one for all. No.85

#### \*エイリョウ・アラカルト 「LCC ～テーマは『ほうとう』～」

山梨県名物「ほうとう」をご馳走になりました。ライフ・クリエイト・クラブ（通称LCC）の皆さんが作りたてを校長室に運んでくれました。放課後の活動だけに、仕事で少し遅くなった時にしか、この恩恵は受けられません。今日はとてもラッキーでした。



メインのうどんに鶏肉が加わり、人参・玉葱・椎茸・しめじといった夏野菜、そして生徒のおじいちゃんが丹精込めて作ってくれた愛情たっぷりの南瓜と栄養満点の「ほうとう」です。感想を述べなくても「おいしい！」のがわかりますよね。

また今回はサプライズがありました。アメリカから留学中のアレックス君が部員に加わり、「ほうとう」の調理にも挑戦したとのことです（自ら校長室に持って来てくれました）。

文化交流は生徒同士の心が通じ合い本当にいいものです。「LCCの皆さん、毎度毎度ご馳走様です！」

#### All for one, and one for all. No.86

#### H29. 9.28 「読書感想文～山田さんが見事「優秀賞」！」

第62回旭川市児童・生徒読書感想文コンクールの審査結果が発表され、本校からも1年次生、山田 愛加さんと山形 優真さんの2名が全道に進むことになりました。今年度は小・中・高合わせて1,021点もの応募があり、二次にわたる厳正な審査を経て、今回の選考となりました。

中でも山田さんの「『塩狩峠』を読んで」は、旭川市のコンクールでも「優秀賞」に輝き、11月の表彰式に参加することが決まっています。また、山形さんは、先の高文連支部写真展「最優秀賞」に続いての受賞となりました。昨年度の山田 颯太 君のエッセイコンクール入賞に続き、とても嬉しいニュースとなりました。

二人の作品は、図書館だより等で全校生徒にも読んでもらえるよう検討していきます。

## H29. 9.28 「授業研究強化週間」



24日～29日までを「授業研究強化週間」と位置づけ、授業改善の参考にするため、他の教諭の授業を参観し合いました。中でもアクティブ・ラーニングの研究を中心に行われた授業では、教科に関係なく多くの先生方が教室に足を運んでいました。

また別の会議室では、局主催の「数学」管内授業実践講座が開催されました。アクティブ・ラーニングはもちろん、新学習指導要領を念頭にした評価方法など、各学校の数学教諭が集い研究を深め合いました。

さらに、当日はカリキュラム・マネジメントについての研究協議が、「国語」「地理」「理科」でそれぞれ行われるなど、まさに「授業研究」一色となりました。

「未来を逞しく生きていく力」を育むための「教育のあり方」がいま問われています。旧態依然から脱却し、「時代の変化と生徒にニーズに応える教育」、「主体的、対話的で深い学びの実現」など、授業や教育内容も今後大きく改善されていくこととなります。

授業公開は毎日行っていますので、保護者の皆様にも気軽に足を運んでいただき、授業内容はもちろん、お子様の様子も合わせてご覧いただければと思っています。



## H29. 9.29 「生徒会役員引退式&認証式」

生徒会役員の引き継ぎが行われました。旧役員の皆さんは、凌雲高校から永嶺高校への移行期にあり激動の一年であったことと思います。クラスも生徒数も一気に増え、学校行事の運営そのものも多様化・複雑化していく中で、本当によく頑張ってくれました！

新しい役員の皆さんには、先輩方が築いてきたこの新しい伝統をさらに発展させてもらうことを期待しています。永嶺高校全生徒の代表として、よろしくお願いします！

## \*エイリョウ・アラカルト 「弓道部がまたまた快挙！～女子個人戦全道優勝です～」

9月30日から行われていた北海道高等学校弓道選抜大会北海道大会において、2年次生 熊谷 梨沙さんが見事優勝し、全国大会への切符を手に入れました。昨年の 藤本さん（現3年）に続き、2年連続の全国大会出場となりました。全国大会は、12月末に滋賀県で開催されます。今から全国での活躍が楽しみです！

